

UNI_06

制作団体名	株式会社 東京演劇集団風
公演団体名	東京演劇集団風

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇, その他()
【演劇】	児童劇 <input checked="" type="radio"/> 演劇, ミュージカル, ノンバーバルその他()
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊, その他()
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸, その他()
【美術】	洋画, 日本画, 版画, 彫刻, 書, 写真, その他()
【メディア芸術】	映像, メディアアート等, その他()

取り組み (該当する取り組みに○を付してください。)

該当	取り組み
	① 障がいを持ったアーティストが活躍する取り組み
<input checked="" type="radio"/>	② 字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障がいを持った子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、アーティストが抱える障がいの種類

--

応募する区分 (該当する区分に○を付してください。)

該当	区分
<input checked="" type="radio"/>	《D 区分》公演をメインプログラムとする企画
	《E 区分》ワークショップを中心とする企画 ※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間等

(別添)カレンダーを御参照ください。

実施可能地域(実施可能な地域又は都道府県名の前に○を付してください。)

地域	都道府県
○限定なし	
北海道	北海道
東北	青森, 岩手, 宮城, 秋田, 山形, 福島
南関東	埼玉, 千葉, 東京, 神奈川
北関東・甲信	茨城, 栃木, 群馬, 山梨, 長野
北陸	新潟, 富山, 石川, 福井
東海	岐阜, 静岡, 愛知, 三重
近畿	滋賀, 京都, 大阪, 兵庫, 奈良, 和歌山
中国	鳥取, 島根, 岡山, 広島, 山口
四国	徳島, 香川, 愛媛, 高知
九州	福岡, 佐賀, 長崎, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 沖縄

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな 制作団体名	かぶしがいしゃ とうきょうえんげきしゅうだんかぜ 株式会社 東京演劇集団風		
代表者職・氏名	代表取締役 浅野佳成		
制作団体所在地	〒164-0003 東京都中野区東中野 1-2-4		
制作団体 設立年月	1987年	10月	
制作団体 組織	役 職 員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 浅野佳成 取締役 柳瀬太一、緒方一則 西垣耕造 監査役 柴崎美納、龍澤武	[団体構成員] 劇団員(専属契約)30名 俳優23名/スタッフ7名 [劇団加入条件] 実習生として1年の養成期間を経た後3年間の研究生期間を経て劇団員となる	
事務体制の担当	○専任 ・ 他の業務と兼任	Web サイト等 URL	https://www.kaze-net.org/top
本事業担当者	江原早哉香	本件連絡先	03-3363-3261 sayaka@kaze-net.org
経理処理等の 監査担当の有無	○有 ・ 無	経理責任者名	辻幸男

【公演団体について】

ふりがな 公演団体名	とうきょうえんげきしゅうだんかぜ 東京演劇集団風		
代表者職・氏名	芸術監督 浅野佳成 / 劇団代表 柳瀬太一		
Web サイト等 URL	https://www.kaze-net.org/top		

<p>特別支援学校等における活動実績や障がいを持ったアーティストの活動を広げる公演等の活動実績</p>	<p>[特別支援学校での実績] 特別支援学校33校、盲学校4校、聾学校9校 全46校 (知的・肢体・病弱含む)</p> <p>演目別実績『星の王子さま』34校、『ヘレン・ケラー』10校、『Touch～孤独から愛へ』2校</p> <p>1990年～ 北海道教育大学附属特別支援学校／宮崎県立都城さくら聴覚支援学校 2000年～ 岩手県立盛岡青松支援学校／栃木県立那須特別支援学校／群馬大学教育学部附属特別支援学校／宮崎県立児湯るびなす支援学校 2010年～ 千葉県立柏特別支援学校流山分教室／広島県立広島中央特別支援学校／山口県立下関総合支援学校／岡山県立岡山盲学校／鳥取県立琴の浦特別支援学校／福岡県立柳河特別支援学校／熊本県立松橋西支援学校 2020年～ 岩手県立盛岡聴覚支援学校／群馬県立しろがね特別支援学校／群馬県立聾学校／群馬県立吾妻特別支援学校／群馬県立高崎高等特別支援学校／群馬県立伊勢崎高等特別支援学校／群馬県立沼田特別支援学校／群馬県立太田特別支援学校／群馬県立赤城特別支援学校／群馬県立館林特別支援学校／群馬県立渡良瀬特別支援学校／群馬県立館林高等特別支援学校／群馬県立太田高等特別支援学校／東京都立城南特別支援学校／東京都立青峰学園／東京都立青鳥特別支援学校／東京都立水元小合学園／山梨県立盲学校／愛知県立豊橋聾学校／岐阜県立聾学校／三重県立特別支援学校東紀州くろしお学園おわせ分校／京都府立城陽支援学校／奈良県立ろう学校／奈良県立盲学校／兵庫県立高等支援学校／兵庫県立赤穂特別支援学校／兵庫県立神戸聴覚支援学校／兵庫県立姫路聴覚特別支援学校／倉敷市立倉敷支援学校／岡山県立倉敷まきび支援学校／佐賀県立唐津特別支援学校／長崎県立聾学校／宮崎県立小林こすもす支援学校</p> <p style="text-align: right;">(2022年6月現在)</p> <p>上記に加え、全国の文化施設や小中学校・高等学校において、3演目(星の王子さま／ヘレン・ケラー／Touch)による、「バリアフリー演劇公演」を展開しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の自治体・文化施設などとの一般公演開催 2019年4公演、2020年5公演、2021年3公演、2022年3公演 ○ 全国の小中学校、高等学校での公演 2020年度13校、2021年度42校、2022年度16校 <p>計 2020年20公演、2021年45公演、2022年19公演(2022年6月現在)</p> <p>また、創立当初から、障害のあるアーティストや作家、福祉関係者と協働した芸術活動に取り組んできました。</p> <p>1994年～ 全国の知的障害者の美術作品を一堂に集め、「親展一言葉より語りたいもの、それははだかの喜怒哀楽」と題して、東京(六本木ストライプハウス)で美術展を開催。</p> <p>1995年～ 作家であり、自身も脳性麻痺の障害のある松兼功氏に執筆を依頼し、『ヘレン・ケラー』を共同制作。</p> <p>2019年～ ホームレスなどを支援するNPO 法人抱樸と連携し『Touch』を連続上演。知的障害者からなる湖南ダンスカンパニーとの共同ワークショップを開始。</p> <p>2022年～ 多様な障害のメンバーによるインクルーシブ劇団夢屋(大阪)とのコラボレーションを実現。</p>
---	---

《D 区分》公演をメインプログラムとする企画用

【制作団体名 株式会社 東京演劇集団風 】

企画名	みんなで楽しむバリアフリー演劇	
主な対象学年	全学年(小学部・中学部・高等部)※幼稚部も鑑賞が可能です	
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安	ワークショップ	全学年(～約1000人まで)
	本公演	全学年(～約800人まで)
企画の動画等の資料	https://youtu.be/gQgdpGPJTvI	左記アドレスでの限定公開映像です

公演について

主な演目 原作／作曲 脚本 演出／振付等	バリアフリー演劇 ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち 公演時間(100分) 作 松兼功 演出 浅野佳成 音楽 小室等		
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>三重苦のヘレン・ケラーと、彼女の可能性を決してあきらめない教師アニー・サリバン。人と人がひびき合う波動が、生きる歓びを呼び覚ます、オリジナルレパトリー。</p> <p>幼少期の病のために、見る・聞く・話すことができないヘレンのもとに、若い家庭教師アニーがやってきます。「これから一緒に頑張りましょう！」と自分の生徒に向き合い続けるアニー。お互いを理解したいと願う情熱と好奇心が、家族を巻き込み、静けさと暗闇に囲まれたヘレンの心とひびき合っていきます。</p> <p>本作は、自身も脳性麻痺の障害がある作家松兼功氏と共同制作した作品です。さらに、会場全体に時の流れを伝える音声ガイド、セリフを映し出す字幕、俳優と一緒にイキイキと演技する舞台手話通訳を演出に組み込んだバリアフリー演劇として、全国での上演を重ねています。</p> <p>出演者と子供たち全員が指文字でセリフを伝え、劇中歌の歌詞を手話・身振りで表現する「手話歌」で舞台のフィナーレをつくりだす参加共演場面も用意しました。友だちや先生、家族との新たなつながりが生まれることを期待しています。</p>		
			
			
			

※学校の状況や要望に応じて、


バリアフリー演劇『星の王子さま』、『Touch～孤独から愛へ』の公演開催も可能です。

3 演目のうち、希望する演目名を実施希望調書の備考欄にご記載ください。

<p>主な演目</p> <p>原作／作曲 脚本 演出／振付等</p>	<p>バリアフリー演劇 星の王子さま 公演時間(100分)</p> <p>作 サン=テグジュペリ 訳 内藤濯 演出 浅野佳成 音楽 八幡茂</p>			
<p>著作権</p>	<p>○ 制作団体が所有</p>	<p>制作団体以外が所有する事項が含まれる</p>		<p>(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無</p>
<p>演目概要</p>	<p>サン=テグジュペリの「かんじんなものは目には見えない。心で見なくては」というメッセージとともに、すべての子供たちをやさしく、想像する喜びへと導くファンタジー作品です。</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>ちっぽけな星で一輪の花と暮らしている小さな王子さま。ある時、王子さまは花とケンカをして星をめぐる旅に出ます。最後にやってきた地球で、飛行士やキツネと友だちになった王子さまは、かけがえのないものを知り、花のために自分の星へ帰ることを決意します――</p> <p>本作は、障害のある子もない子と一緒に楽しめるバリアフリー演目として特別支援学校等でも上演を重ねています。俳優のこぼや身振り、色鮮やかに時の移ろいを表す舞台照明、おだやかに心に残るソングの数々。そして、本をめくるように背景中央に映し出される日本語字幕、小さな少年の成長に寄り添う舞台手話通訳、旅の光景や地球の美しさを物語る音声ガイドが演技者となって物語をより一層深めます。</p> <p>子供たち全員が主役となる参加型公演です。個々に湧き上がってくる王子さまへの思いを、歌やセリフ・動き、手話・身振りにして、出演者と一緒になって物語のクライマックスをつくりあげます。</p> <p>友だちや先生と新たに出会うきっかけとなることを願い、卒業を控えた最上級生、先生方の特別出演場面も用意しました。</p> </div> <div style="flex: 1;">    </div> </div>			

<p>主な演目</p> <p>原作／作曲 脚本 演出／振付等</p>	<p>バリアフリー演劇 Touch～孤独から愛へ</p> <p>公演時間(100分)</p> <p>作 ライル・ケスラー (原題:ORPHANS) 訳 小田島恒志 演出 浅野佳成 音楽 八幡茂</p>		
<p>著作権</p>	<p>制作団体が所有</p>	<p>○ 制作団体以外が所有する事項が含まれる</p>	<p>有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無</p>
<p>演目概要</p>	<p>孤独を抱える3人が“ふれる”ことで自分と向き合い、新しい一歩を踏み出していく——誰にも“大切な人”がいることを想起させる、希望と励ましの物語。</p> <p>舞台は、アメリカの下町アパートの一室。感情を抑えられない兄と、優しさを求める弟のもとへ「お前らデッド・エンド・キッドだろう？」と陽気な酔っ払いのハロルドがやってきます。「元気づけてやろう！」と手を差し伸べるハロルドに対し、兄はふれられることを頑なに拒み、弟は素直に心を開いて次第に世界を広げていきます。</p> <p>ある日訪れた突然の別れによって、ふたりは大切なことに気がつきます。</p> <p>場面の变化を伝える音声ガイド、舞台美術の一部となって兄弟を照らし出す字幕、そして、舞台手話通訳が登場人物のひとりとなって、3人の心の変化を見守ります。</p> <p>物語の最後には、子供たちの共演場面を設けました。舞台を見るなかで生まれた登場人物への想いを、自由に声や身振りにして届けます。そして、全員で劇中歌を歌うカーテンコールで公演の幕が閉じます。どんな状況であっても、人と人が支え合い生きることの力強さを伝え、若い観客との対話を繰り返してきたレパトリーです。</p>		



<p>公演従事予定者の編成 (1公演あたり)</p>	<p>『ヘレン・ケラー ～ひびき合うものたち』 計21名 出演者、舞台手話通訳、音声ガイドナレーター 11名、スタッフ(字幕オペレーターを含む) 10名 『星の王子さま』 計27名 出演者、舞台手話通訳、音声ガイドナレーター 11名、スタッフ(字幕オペレーターを含む) 16名 『Touch～孤独から愛へ』 計18名 出演者、舞台手話通訳、音声ガイドナレーター 5名、スタッフ(字幕オペレーターを含む) 13名</p>												
<p>公演に当たり必要な会場条件</p>	<p>バリアフリー演劇 3演目共通の会場条件です</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台の設置場所 (教室 ・ 体育館) ・舞台に必要な広さ 横幅 12m × 奥行き 9m ・電源容量(主幹ブレーカー容量)150A 満たない場合は劇団が発電機を用意します。 ・暗転の要否(要 ・ 不要) 劇団で遮光シートを用意します。 ・その他 <p>会場条件を問わず、すべての体育館にて子供たちが本格的な劇場空間を体験できるよう、舞台設営を行います。 何よりも子供たちの安全や体調に配慮して、誰もが安心して楽しめる環境を準備します。 体育館が人の手によって、劇場へ変化していく過程にもご期待ください。</p> 												
<p>会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安</p>	<p>前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(前日約2時間・当日約3時間)</p> <table border="1" data-bbox="391 1388 1428 1512"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8時～ 8時30分</td> <td>8時30分～12時</td> <td>13時～14時40分</td> <td>10分</td> <td>15時～17時30分</td> <td>17時30分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記のタイムスケジュールは3演目共通の目安です。 特に、特別支援学校では各校の時間割(登下校時間、給食時間、バスや車での送迎など)、子供たちの日頃の生活・学習リズムを伺いながら、休憩時間の延長・リハーサル、バックステージツアーも含めたスケジュールを先生方と共に作成します。</p>	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出	8時～ 8時30分	8時30分～12時	13時～14時40分	10分	15時～17時30分	17時30分
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出								
8時～ 8時30分	8時30分～12時	13時～14時40分	10分	15時～17時30分	17時30分								
<p>派遣について</p>	<table border="1" data-bbox="383 1736 1436 1904"> <tr> <td>移動方法の制約等</td> <td>特にありません。</td> </tr> <tr> <td>運搬規模</td> <td>11tトラック(大型車両) 1台 ※『星の王子さま』は、11tトラック(大型車両)と4tトラック(中型トラック)計2台で運搬します。</td> </tr> </table>	移動方法の制約等	特にありません。	運搬規模	11tトラック(大型車両) 1台 ※『星の王子さま』は、11tトラック(大型車両)と4tトラック(中型トラック)計2台で運搬します。								
移動方法の制約等	特にありません。												
運搬規模	11tトラック(大型車両) 1台 ※『星の王子さま』は、11tトラック(大型車両)と4tトラック(中型トラック)計2台で運搬します。												

ワークショップについて

ワークショップ	<p>(内容)</p> <p>公演実施前と実施後に行う、2つのプログラムを用意しました。</p> <p>① 自由即興演技～みんなで事前練習(公演の約1か月前に実施/45～90分) 本番で共演するクライマックスシーンを、出演者と一緒に練習します。 最初に大まかな物語を伝えたのち、共演する場面を俳優が演じてみせます。 その後、俳優たちと子供たちが息を合わせながら、動きやセリフ、手話歌・指文字などの実演練習に取り組みます。 最後には、各校それぞれのクライマックスをみんなで作りだします。</p>  <p>② ユニバーサルみんなでセッション (本公演当日・公演終了後に実施) 俳優やダンサー、映画づくりや障害者運動で活躍している障害の当事者、独自のインクルーシブ活動を行う福祉の専門家らをゲストに迎え、公演が終わった熱気のなかで、子供たちと出演者、みんなが語り合う場を設けます。</p> 
	<p>(体制)</p> <p>①の事前練習では、本番に先立って、演出家、出演者3名、舞台手話通訳、音響スタッフの計6名が学校に赴きます。 ②のみんなでセッションでは、本公演の出演者・スタッフに加え、障害当事者、支援者(通訳者)の計2～3名が公演に同行します。</p>
	<p>(目的とする効果)</p> <p>友だちや学校のみんなどの豊かな経験を育む事前練習 ひとつの演劇をつくりあげるなかには、想いや考えをそれぞれの表現で伝え合う面白さ、みんなで力を合わせたときに感じる達成感、普段は気が付かなかった友だちの「好き」や「得意」を発見するなど、豊かな経験が秘められています。物語世界にふれ、俳優と向き合い、型にとらわれず、自由に思うままにやってみることを通して、鑑賞だけでは得られない創造の喜び、学校でのかけがえのない思い出をつくります。</p> <p>さまざまな人の生き方や表現方法にふれる、ユニバーサルみんなでセッション 公演に携わる出演者・スタッフと同様に、障害当事者、彼らを支える福祉の人たちを身近に感じながら、障害や社会について考えられる機会です。子供たちが周囲の人の大切さに気づき、優しさをもって人と生きていく力につながります。</p>

企画全体について

企画のねらい	<p>障害の有無や特性、地理的な条件、経済的な格差、家庭環境にかかわらず、すべての子供たちに本格的な舞台との出会いをつくります。</p> <p>子供たちは大人が思いもよらないほど繊細な感覚でものごとを見つめながら、周囲の環境、仲間や先生のことを感じ、たくさんのもを受け取っています。</p> <p>本企画は、参加する子供たちの誰もが主役です。</p> <p>子供たちのひと・もの・ことへの大いなる好奇心を引き出し、先生方と協力しながら、個々の子供たちが思い切り自分を表現して、いきいきと感性を発揮できるワークショップ・本公演を実施します。</p> <p>また、俳優・照明・美術・音楽と同じように、ひとつの演劇をつくり出す芸術的要素として手話・字幕・音声ガイドを組み込んだバリアフリー演劇を選択しました。</p> <p>障害のある人もない人も、同じ時間と空間を共にして、ひとつの演劇を観る感動を分かち合うとともに、みんなが想像力を解き放ち、他者とつながる原動力となる創造の場をつくります。</p> <p>さらに、演劇全体にちりばめられた表現のあり方、舞台に携わる人やゲストとのふれ合いを通して、子供たちが広く世界と出会う窓を開きます。</p> <p>多様性や違いを認め合い、互いを尊重する思いやりの心を持って、人と生きていく喜びを得てほしい。みんなでつくり出す演劇空間に生まれる小さな共生社会が、子供たちが担う未来・社会づくりの一歩となってほしいと考え、本企画を作成しました。</p>
--------	---

特別支援学校等での実施における工夫等	<p>劇場空間を肌で感じて、俳優やスタッフと仲良くなる体験や交流</p> <p>「体育館に自分たちの劇場ができた！」という親しみを感じられるよう、舞台をまるごと体験できるバックステージツアーを行っています。</p> <p>普段は見られない舞台の裏側を探検したり、道具を動かしてみたり、音やライトの操作をしたり、衣装を着て俳優になりきってみるなど、舞台を隅々までさわって実体験。案内役には出演者やスタッフが入り、子供たちの小さな疑問や質問に答えます。</p> <p>また、舞台の広さや構造を伝える舞台説明、衣装の色や形を想像できる俳優紹介も行い、安全面に十分配慮し、身体全体で舞台を感じられる工夫を行っています。</p> <div data-bbox="416 1650 912 1991"></div> <div data-bbox="933 1650 1430 1991"></div>
--------------------	---

<p>特別支援学校等での実施における工夫等</p>	<p>事前のヒアリングを通して、一校一校との充実したプログラムを作成</p> <p>特別支援学校、聾学校、盲学校、病弱支援学校、特別支援クラスなど、それぞれの障害の特性や日々の取り組みを伺い、思い出深い参加・共演、体験・交流内容となるよう、ワークショップや本公演の実施内容を作成します。</p> <p>先生方との丁寧な打ち合わせによって、各校個別の状況、教育のテーマ、地域活動、またひとりひとりの心の課題に寄り添って公演に向かいます。</p> <p>みんなで一緒に楽しむために</p> <p>バリアフリー演劇の公演を基盤に、どのような障害のある子どもと一緒に舞台を鑑賞・体験できるよう、個別の子供たちの現状や体調に即した配慮を行います。公演への期待感を高めながら、学校のみinnで演劇をつくる達成感が子供たちの自信や誇りとなるよう、実施に向かいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視覚的・聴覚的な情報を保障する手話・字幕・音声ガイド ○ 子供たちの主体性を活かした、歌や詩の発表・楽器演奏との共演 ○ 公演のオリジナルポスターづくりや、子供たちが企画・進行するオープニングセレモニー、地域や保護者へ向けた招待状など、独自の発想や公演への意欲を高める特別活動 ○ 車椅子やストレッチャーによる参加のための環境づくり ○ 院内で学ぶ子供たちも参加・鑑賞できるライブ配信、オンラインプログラムの実施 ○ ワークショップ・本公演への期待を高めるためのツールの作成や送付 墨字・点字台本やパンフレット／俳優のメッセージを届ける声のプレゼント／手話歌や俳優紹介を収録した映像／手話によるサインネーム紹介プリント等 ○ 体調や安全に配慮した環境づくり 季節を問わず最適な鑑賞環境を整える冷暖房器具の設置／入場口や動線の安全性の確保 ほか
<p>取り組み②で応募する場合、特に重点的に課題解決に取り組んできた課題(障がい)</p>	<p>各地の先生方と協力し、全国の子供たちに鑑賞機会を創り出す</p> <p>劇団は創立以来、全国の青少年に向けた巡回公演を行ってきました。「いまを生きる子供たちに、勇気や励ましを与えたい」という各地の先生の熱意とともに、現在も全国の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校において年間約200ステージの公演活動を行っています。また大規模校・小規模校を問わず、都市部から離れた山間部やへき地、離島を含んだ、全国各地の子供たちとの出会いを繰り返してきました。</p> <p>学校には障害に限らず、人との関わりが苦手な子、また不登校や心の悩みを抱えている子など、多様な子供たちが共に学んでいます。「全員で一緒に演劇を見られた！」「普段は体育館に入れなかった子が、みんなと一緒に参加できた！」という小さな変化が、その後の学校生活の大きな活力につながることも目の当たりにしてきました。</p> <p>子供たちの心の成長を育み、全員で感動を共有できる演劇公演の実現を課題と捉え、創造活動に取り組んでいます。</p>

<p>取り組み②で応募する場合、特に重点的に課題解決に取り組んできた課題(障がい)</p>	<p>観客と向き合い、質の高い演劇を創り出す俳優・スタッフの育成</p> <p>子供たちが思い切り舞台に親しみ、それぞれの芸術性を発揮するためには、舞台を上演する俳優やスタッフの専門性の高さはもちろん、子供たちと心を通わせ、力を合わせ、一緒に楽しむ姿勢が不可欠です。</p> <p>子供たちを物語の世界に導き、ひとりひとりと深く関わりながら演じる俳優、そしてどんな状況においても臨機応変かつ安全な対応ができるスタッフの育成を図っています。劇団内での勉強会、海外アーティストとの共同制作に取り組みながら、俳優・スタッフの幅広い知見を育み、公演現場へと反映していきます。</p> <p>障害当事者や専門家と共同制作したバリアフリー演劇</p> <p>見えない人、聞こえない人、見えて聞こえる人、どんな人にも開かれた演劇をつくりだすため、視覚・聴覚の当事者・専門家らとの研究会を立ち上げました。</p> <p>約1年間の議論を重ね、俳優に呼応する舞台手話通訳や臨場感あふれる音声ガイド、舞台美術に自然に溶け込んだ日本語字幕といった、当事者が鑑賞に必要な情報と舞台演出が融合した、バリアフリー演劇を制作しました。</p> <p>その後も、当事者や福祉団体との協働・連携をさらに発展させ、現在では劇団が上演を重ねてきた3演目をバリアフリー化しています。</p>
<p>協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等</p>	<p>障害種別を超えて当事者が加盟し活動する「DPI 日本会議」、知的障害のある人とその家族が構成する「全国手をつなぐ育成会」、各地の約30の社会福祉法人からなる「全国地域生活支援ネットワーク」が、障害への理解を深めるワークショップへの参加、ネットワークを活かした全国各地での広報活動を担います。</p> <p>団体内では、巡回公演等において実績のある劇団の俳優・スタッフが核となってワーキングスタッフを組織。〈事前ヒアリング・ワークショップ・本公演・事後調査〉を計画・実施します。</p> <p>加えて、下記のメンバーがワークショップ・公演へ同行し、専門家の知見を活かした子供たちとのセッションや指導を行います。</p> <p>音声ガイド監修 大河内直之(視覚障害)、字幕監修 廣川麻子(聴覚障害) 手話監修 河合依子(聴覚障害)、舞台手話通訳 小島祐美(手話通訳士) バリアフリー演劇 総合監修 尾上浩二(肢体不自由)</p>

【令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－ユニバーサル公演事業－実施条件等確認書①】

ID	UNI_06	分野 (大項目)	演劇	分野 (中項目)	演劇	区分	D区分
公演団体名	東京演劇集団風			制作団体名	株式会社 東京演劇集団風		

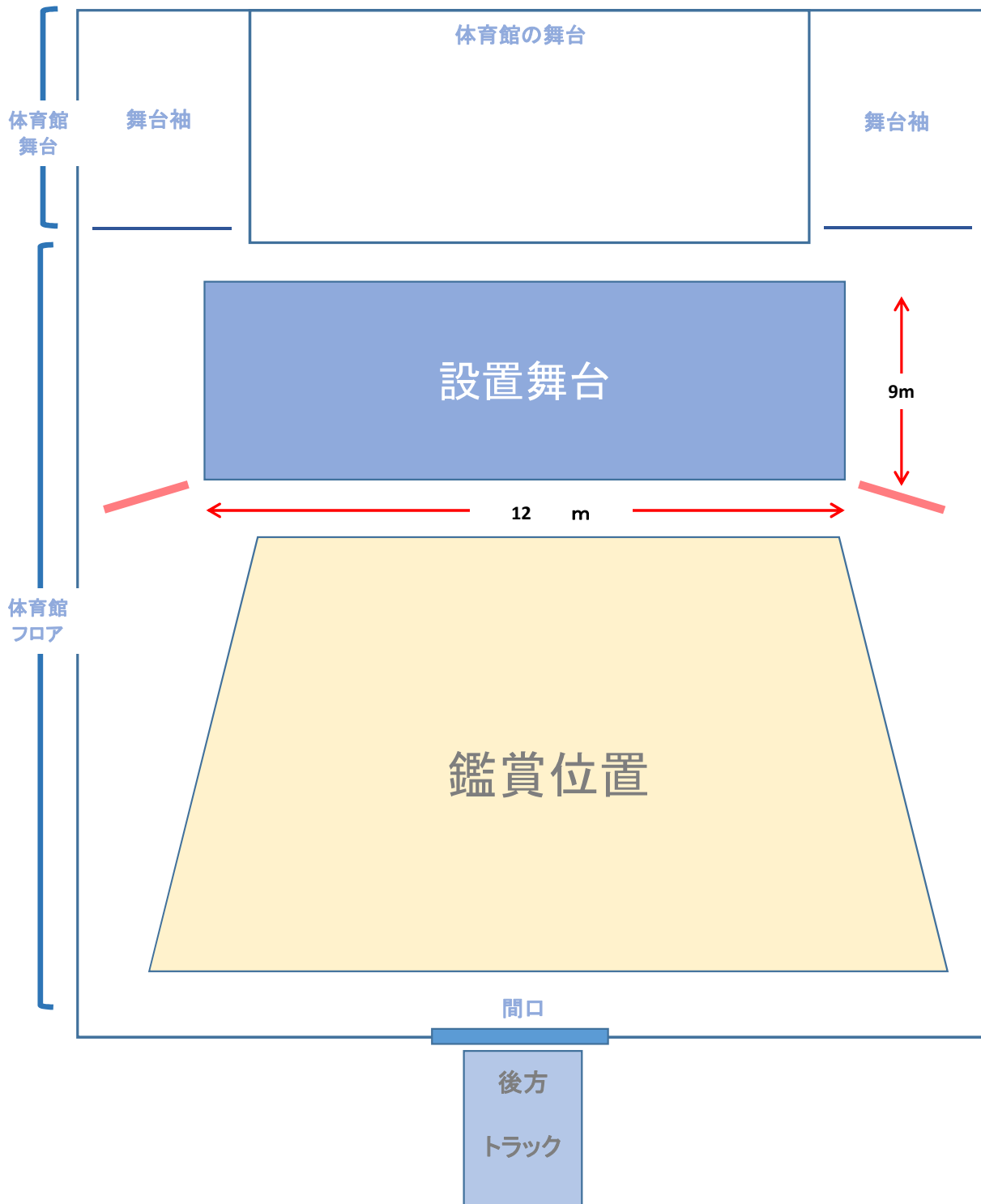
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等						応相談		
控室について	必要数 *	不要	条件	授業等で使用しない教室があればお借りします			可		
搬入について	来校する車両の大きさ台数 *			10t	1台	中型バス	1台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			演目「星の王子さま」のみ、4tトラックが追加となります。					
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			10tトラック(幅2.5m 長さ11m 高さ3.7m)				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	搬入経路の最低条件			条件はありません。					
	理由			事前の打合せの際に、下見をさせていただき、最も良い舞台設営方法を相談させていただきます。					
	設置階の制限 *			問いません				可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	指定なし	高さ				
WSIについて	参加可能人数	全学年の参加が可能です					可		
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *						
	所要時間の目安 単位:分	60~90分ほど(実施前の打合せの中で実施時間を決定します)					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。						
	鑑賞可能人数		~800名ほど(体育館の広さ等によって前後します)					可	
	舞台設置場所 *		フロア						
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	12m	奥行	9m	高さ	特になし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件		舞台袖スペースの確保 *						
			舞台袖スペースの条件 *						
			緞帳 *			バトン *			
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要	理由	遮光用幕を持参します			可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)		指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
			ピアノの事前調律 *		不要				
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		問いません				
	公演に必要な電源容量		150A	※主幹電源の必要容量			可		
	その他特記事項							応相談	
体育館の電源容量が足りない場合でも、発電機を用いて、本格的な劇場を作り出します							可		
公演の前日に舞台設営を2時間程実施します。設営のスケジュールもご相談の上、決定します							可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	指定なし	高さ	0
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



UNI_06

D区分

東京演劇集団風

前日仕込みの有無

あり

10月3日	月	○
10月4日	火	○
10月5日	水	○
10月6日	木	○
10月7日	金	○
10月8日	土	
10月9日	日	
10月10日	月	
10月11日	火	○
10月12日	水	○
10月13日	木	○
10月14日	金	
10月15日	土	
10月16日	日	
10月17日	月	
10月18日	火	○
10月19日	水	○
10月20日	木	
10月21日	金	○
10月22日	土	○
10月23日	日	
10月24日	月	
10月25日	火	○
10月26日	水	○
10月27日	木	
10月28日	金	○
10月29日	土	○
10月30日	日	
10月31日	月	○

11月1日	火	○
11月2日	水	○
11月3日	木	
11月4日	金	
11月5日	土	
11月6日	日	
11月7日	月	○
11月8日	火	○
11月9日	水	○
11月10日	木	
11月11日	金	○
11月12日	土	
11月13日	日	
11月14日	月	
11月15日	火	
11月16日	水	○
11月17日	木	○
11月18日	金	○
11月19日	土	
11月20日	日	
11月21日	月	○
11月22日	火	○
11月23日	水	○
11月24日	木	○
11月25日	金	○
11月26日	土	○
11月27日	日	
11月28日	月	○
11月29日	火	○
11月30日	水	○

12月1日	木	○
12月2日	金	○
12月3日	土	
12月4日	日	
12月5日	月	○
12月6日	火	○
12月7日	水	○
12月8日	木	○
12月9日	金	○
12月10日	土	○
12月11日	日	
12月12日	月	○
12月13日	火	○
12月14日	水	○
12月15日	木	○
12月16日	金	○
12月17日	土	
12月18日	日	
12月19日	月	○
12月20日	火	○
12月21日	水	○
12月22日	木	○
12月23日	金	○
12月24日	土	○
12月25日	日	
12月26日	月	○
12月27日	火	
12月28日	水	
12月29日	木	
12月30日	金	
12月31日	土	

1月1日	日	
1月2日	月	
1月3日	火	
1月4日	水	
1月5日	木	
1月6日	金	
1月7日	土	
1月8日	日	
1月9日	月	
1月10日	火	○
1月11日	水	○
1月12日	木	○
1月13日	金	○
1月14日	土	
1月15日	日	
1月16日	月	○
1月17日	火	○
1月18日	水	○
1月19日	木	○
1月20日	金	○
1月21日	土	
1月22日	日	
1月23日	月	○
1月24日	火	○
1月25日	水	○
1月26日	木	○
1月27日	金	○
1月28日	土	○
1月29日	日	
1月30日	月	○
1月31日	火	○

2月1日	水	○
2月2日	木	○
2月3日	金	○
2月4日	土	
2月5日	日	
2月6日	月	○
2月7日	火	○
2月8日	水	○
2月9日	木	○
2月10日	金	○
2月11日	土	
2月12日	日	
2月13日	月	
2月14日	火	
2月15日	水	
2月16日	木	
2月17日	金	
2月18日	土	
2月19日	日	
2月20日	月	○
2月21日	火	○
2月22日	水	○
2月23日	木	○
2月24日	金	○
2月25日	土	
2月26日	日	
2月27日	月	○
2月28日	火	○